

広域連携を通じた国際競争力の強化に向けた取り組みイメージ

国際物流戦略チームを主体に、広域連携を通じた国際競争力の強化に向け取り組む

港と港の連携

大阪湾諸港の包括的な連携による国際競争力の強化

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

- ・係留施設等の整備促進
- ・埠頭公社改革
- ・ターミナル運営の効率化 等

手続きの一元化・IT化

- ・各港連携による入港手続き等の一元化・IT化
- ・JCL-NETの利活用の推進 等

一開港化

- ・大阪湾諸港の一開港化の実現

入港料の低減 港湾の広域管理等

- ・各港連携による入港料の低減
- ・将来的な広域的な港湾管理の実現 等

海上輸送の連携

- ・瀬戸内海諸港と連携した内航フィーダー輸送の推進
- ・モーダルシフトの推進 等
- ・船舶運航サポート情報提供の推進

港と道路の連携

国際物流基幹ネットワークの形成

高規格道路の整備等

- ・道路ネットワークの充実
- ・ボトルネックの解消 等

海港と空港の連携

関西国際空港を活用した航空物流機能強化

深夜貨物便の推進

- ・関西国際空港を活用した深夜貨物便の充実 等

Sea&Air輸送

- ・関西国際空港を活用した、Sea&Air輸送の促進

国際物流戦略チーム

産学官で、港と港、港と道路、港と空港の連携等について取り組み、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指す。

大阪湾諸港の包括連携施策推進会議

大阪湾諸港の包括的な連携施策の具体化に向けた取り組みを推進

阪神港広域連携協議会

神戸港PC18、大阪港C12を整備中。

阪神港スーパー中枢港湾社会実験を実施。(H17年度)

スーパー中枢港湾「阪神港」における大規模災害時の港湾施設の相互利用に関する協定を締結。(H18.5.25)

ゲートオープン時間拡大等に向けた社会実験実施。

大阪湾広域IT研究会

大阪湾諸港の各港連携による手続き様式等の一元化・IT化について、検討中。

大阪湾に複数寄港する外航定期のコンテナを取り扱う船舶に対する入港料减免申請の様式を統一。

大阪湾4港の共通ポータルサイト創設に向け取り組み開始。

船舶交通に関する調査検討委員会

船舶交通に関する調査検討委員会等の結論を受け、関係省庁が連携して関係政令を改正することにより、平成19年12月1日に阪神港が誕生し、一開港化を実現。

大阪湾港湾連携推進協議会

4港湾管理者(大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市)が連携して、平成19年4月より大阪湾に複数寄港する外航定期のコンテナを取り扱う船舶に対し、入港料を1/2に低減するインセンティブ制度を導入。

関西クリーン物流パートナーシップ会議

港運はしけを活用したコンテナ輸送効率化推進検討会
内航フィーダー輸送推進委員会
大阪湾運航サポート情報提供推進会議

関西クリーン物流パートナーシップ会議においてモーダルシフトを支援。阪神港間における港運はしけを活用したコンテナ輸送の効率化について検討中。
神戸港・広島港間で内航フィーダー利用促進に関する社会実験等を実施。
海域利用者の相互協力による船舶運航サポート情報提供の方策を19年12月に取りまとめ。

関西広域幹線道路会議

港と道路ネットワークの円滑な連携を図り後背圏確保のため、「関西広域幹線道路会議」を設置。(H18.11.13)
現在、事業実施の具体的な検討を実施中。
(淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線、新名神高速道路 等)

関空国際物流効率化推進協議会

深夜貨物便等を活用した関空航空貨物ネットワーク強化のため、北米、欧州、アジア未就航都市などに就航させるモデル事業を検討する。

関西国際空港と阪神港等が連携した国際物流の利用促進を図るため、大阪航空局と近畿地方整備局が連携して海・空連携や機能分担が行われている国際貨物の流通実態を把握する調査を実施(H18年度)。

主な施策

取り組み体制

取り組み状況・予定